



## こどもの感染症と予防接種について

こどもは生まれてから10歳頃まで繰り返し感染症にかかり、免疫を獲得していきます。なかでも乳幼児期はあらゆる感染症にかかりやすい時期です。

こどもがかかりやすい感染症の一部はワクチンで予防でき、感染症に罹患する頻度はかなり少なくなりました。

予防接種で予防できる病気の多くは、死に至る病気や後遺症を残す病気です。

### ★予防接種の目的

- ・病気にかからない
- ・病気にかかっても症状が軽くなる
- ・周りの人にうつさないようにする

接種できる時期になったら忘れずに予防接種を受けるようにしましょう！



マスク生活が続いていた状況下では見られていなかった感染症が、マスクを外し始めたことでコロナ禍前の状況に戻ってきています。かぜのような症状を引き起こすウイルスや細菌の中には髄膜炎、脳炎などを引き起こすものもあります。こどもが感染症にかかったら経過をしっかりと見守り、体調不良の際は医療機関を受診してください。

### ★重症化を見逃さないためのチェックポイント

- 「ぐったりしていないか」「顔色が悪くないか」「普段と違う様子はないか」
- 「息苦しそうにしているか」「胸がベコベコしていないか」「唸っていないか」

水分がとれているか、尿・汗・涙は出ているかということもチェックポイントです。



感染症を予防するために、手洗いや規則正しい生活、ワクチンで防げる病気は予防接種を受けることを意識しましょう。